会議開催結果

1　会議の名称	広田地区地域審議会
2　開催日時	令和5年11月30日（木）19時00分から19時55分まで
3　開催場所	砥部町ひろた交流センター　２階　大ホール
4　審議等事項	【議題】 (1)　砥部消防署広田出張所の建替えについて (2)　その他
5　出席者名	【地域審議会委員】 一ノ宮修、田中浩幸、日野林一樹、西岡浩二 西岡真由美、土井千砂美、太田由美子、松尾利勝 向井京子 （欠席者：藤原佳祐） 【副町長】（町長代理） 岡田洋志 【総務課】 門田敬三、政岡晋 【事務局】 町田忠彦、森大三朗
6　公開又は非公開の別	公開
7　非公開の理由	－
8　傍聴人	０人
9　所管課	総務課　広田支所　電話　089-969-2111

第 27 回広田地区地域審議会会議録

発言者	発　言　内　容
事務局	開会宣言
町長	町長あいさつ
事務局	町関係出席者の紹介
事務局	広田地区地域審議会委員１名の欠席の報告。 本日の会議は、砥部町地域審議会条例第８条第３項の規定により「会議は委員の過半数の出席がなければ、これを開くことができない」となっております。本日は、委員 10 人中９人の出席がありますので、会議が成立していることを報告いたします。
事務局	それでは、議事に移りたいと思います。議事につきましては、砥部町審議会条例第８条第２項の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、会長に議事の進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
会長	それでは、議事に入りたいと思います。 砥部消防署広田出張所の建替えについて、担当課から説明をお願いします。
総務課長	―砥部消防署広田出張所の建替えについて説明―
会長	説明が終わりました。何かご質問、ご意見などございましたらお願いします。
委員	建物を建てる場所につきまして、写真を拝見させていただきましたところ、元々水田だったと思うんです。水田の隣接地の農地に入っていく感じで、隣接者の転用の問題もあり、転用の土地の隣接者の同意書は取られているんだと思うのですが、その確認と、今の消防署の駐車場が少なく、路上に置かれているのが見受けられます。ある程度、駐車場の確保をされたほうが後々便利ではないかと私は思います。お話しをお聞きしたいのですが。
総務課危機管理室長	まず、隣接者との同意、協議につきましては、周り農地等々ございますが、全て同じ地権者の方の土地です。この件に関しては問題ございません。また、転用等の手続きに関しましては、今回の分の案件は、転用不可・転用許可不要となる案件になっております。法的な手続き等の必要はないという形になってます。土地収用の中の事業で行うというような内容になりますので大きなことは必要ないと確認しております。

	駐車スペースですが、皆さん土地の形状はよくご存知かと思うのですが、少しいびつで、真四角な形ではございません。駐車場スペースの確保については、十分確保できるように、設計の段階では伝えておりますので、今日いただいたご意見を踏まえて、設計の方で反映させていただきます。よろしくお願いいたします。
総務課長	補足ですけれども、現在の場所の土地が約 260 ㎡でございます。今回 1500 ㎡弱 5 倍近くの広さ、建物自体が大きく 1 階建てになりますので当然建設敷地としては必要になりますが、駐車場は十分に確保できていると思っております。委員さんからご指摘がございましたとおり、使いやすい施設になりますよう、建設を進めて参りたいと思っております。ありがとうございます。
会長	よろしいでしょうか。他にご意見ございましたら、お願いいたします。 砥部町の役所の皆さまに大変ご理解をいただいて建替えということで話ができて嬉しく思っております。ありがとうございます。
委員	一点質問させていただきます。出動件数が減少傾向ということを書いてありますが、過去 10 年を見ますと、一定程度出動があると思います。その減少傾向という比較が、今の現出張所が建設された平成 4 年からの比較ということですか？参考として、その当時、どのぐらいの出動件数があったとか、人口減少しているのでかなりの減少傾向にはなっていると思うのですが。もし分かりましたら、教えていただきたいと思いまして。
総務課長	今日は数字的なものを持ち合わせておりませんので、また、委員さんに調べてお送りさせていただきたいんですけれども、よろしいでしょうか。
委員	そこまでしていただくに及びません。本当に残していただくことは広田地域にとって非常にありがたいことだと思います。
委員	私の勉強不足で、組合消防の一元化によって、出動体制の強化が図られていること、これは具体的にはどういったことでしょうか？
総務課危機管理室長	伊予消防の本部の方で 119 番の通信業務を行っております。その業務で本部の通信司令官の方で一元化しまして、例えば砥部で火事がありましたら砥部消防署だけで対応していたのですが、一元化になったことで、砥部消防署以外の松前・伊予消防署の常備消防が駆けつけるという体制になっております。これが一元化で、評価させていただいているのですけれども、逆に松前で火事があった場合に、砥部消防から消防車両が出動するような感じになっております。救急体制もそうです。

委員	近隣のところに駆けつけるということでしょうか？
総務課危機管理室長	伊予消防等事務組合がですね、伊予市・松前・砥部の 1 市 2 町で構成されております。その市町の中で対応する。という形になっております。
委員	分かりました。それでは、今回の出張所が平屋作りの 2 階ですが、何かそれは理由があるのでしょうか。
総務課危機管理室長	場所が、三角形の土地でございまして、どうしても 300 ㎡程度の建物を建てようと思ったら、建てる位置がある程度決まってしまいますので、バリアフリー等の関係で、平屋の方が利用しやすく、現場の消防署からも意見等々がありまして、総合的に踏まえまして、今回は平屋建てという風な形で現況はさせていただいております。
委員	分かりました。ありがとうございます。
会長	よろしいでしょうか。他にご意見はお願いいたします。ございませんでしょうかね？それでは特にないようでしたら、案件は以上で終わりたいと思います。町からの報告が終わりましたので、「その他」のほうで何か皆さまからご質問ご意見等ございましたらお願い致します。
委員	玉谷の町民体育館ですかね。あそこを先日上の通りを通っていたら、塗装が緑から赤褐色になっている。どんどん錆びてきているのではないか。放置しておくと回りが錆びで穴が開き、雨漏りする等、影響が出るのではないか。だんだん人口も減って、利活用も減っている。できれば早く修繕をした方がいいのではないかと。町の財政的にいろんな経費節減していると思うが、早いうちに塗装の工事をされた方がいいのではないか。ご意見を出させていただきました。よろしくお願いします。
総務課長	旧玉谷小学校の体育館、以前から災害時等で、避難所として活用されていたと思うんですが、基本的に計画の中で、玉谷小学校のほうが、地震の災害では、避難所として使います。数回の場合は、土砂災害警戒区域とか入っておりますので、今現在はもう広田こちらのほうに避難をしていただくというのが基本的な考え方になっておりますので。 その話は置いときまして、建物の老朽化につきましては、使用頻度や今現在利用頻度が少ない施設等につきまして、今後どういった形で残していくか、また、統合していくか、廃止をするのかってことも踏まえて検討していかないといけません。財政状況等も踏まえまして、全ての施設、費用対効果等も検討し

	ながら、今後考えていかないといけない課題であります。今現在、屋根に赤錆びが出ていると状況は大変申し訳なく思っておりますが、今後、また、広田審議会のほうで御相談をさせていただきながら、施設の在り方については検討していきたいという段階でございます。御理解をいただけたらと思います。
委員	去年の 12 月大雪がありましたよね。その時、私ちょっと車がスタックしたりしまして非常に苦労しました。あと、停電があり、電話を支所にしたら、本庁のほうにかかりまして、停電してるんですけどってお伝えしたら、それは四電に言ってくださいみたいな返事しかもらえませんでした。どういう状況になってるんだろうと非常に不安に思いました。除雪作業も少しずつ進めてくださったんですけど、除雪作業してる知り合いの業者で、その方が、今、状況がどうなってるか全く分からないっておっしゃるんです。状況把握も連絡も出来てないし、行政の放送もないし、何にも情報がないっていうのがすごく不安に感じました。どういう体制になってるのかよく分からないので、災害状況、状況把握を早くしていただいて、出来ましたら、放送を通じて、状況を少しでも伝えていただけたらと思います。また、中野川のほうで、消防署、消防の方たちが行ったということを聞きまして、ちょっと何かしていただけたらいいなというふうに思いました。以上です。
副町長	私のほうからちょっとお話をさせていただいたらと思うんですが、私も雪のときは、こちらのほうに上がって参りました。何年かぶりの大雪と、高市のほうに行くと、60 センチ 70 センチの雪が積ってたということと、森林管理が出来てなく、倒木等が多く、雪の重みで電線が切れたと。除雪も間に合わなくて、四電の工事車両が到着出来なかったということで、本当に、何日もかかって停電の解消に要したということでございました。このあたりも踏まえまして、私どもも災害対策本部を立ち上げていたのですが、消防団員、消防署員、うちの機関の職員も、雪害についての対応が不十分でございましたので、そのあと、皆さんでいろいろ話をしてもらいまして、資機材、あるいは、除雪の道具等々も、買い揃えました。今年の年末のいつになるのか分かりませんので、安心安全を保ちまして、生活に支障がないように、支所の体制、あるいは、危機管理体制も整えまして、もう一度、取り組んで参りたいとおりますので、またそういうときには、活躍をさせていただいたらと思いますので、どうぞ見守っていただけたらと思います。
委員	今の委員さんの御意見があったと思うんですけど、私も満穂地区で、割合標高の高いところに雪が 50 センチぐらい降り、私のハウスのほうが潰れたりしまして、もう大変な日でした。聞くところによりますと、中野川地域のほうが、倒木、断線で大変だったという話を、後から聞きました。総務課さん、支所長さんに対応していただいたんだと思うんですけど、今、独居老人とか、高

	齢者の方が非常に多い、広田地域ですので。幹線道路が断裂すると、もう音信不通というか、救急車も入れないというような状況になってしまいます。聞くところによると、お年寄りの独居老人の方が、民生委員さんが尋ねたら、倒れていたそうです。復旧するまで、自宅待機して、それから、対応したような話も聞いたんですけど、極力、早い対応をですね、砥部地区のほうはあんまり関係ないと思うんですが、広田地区のほうは、割合最近大雪がたまにありますので、災害対応について、よろしくお願い申し上げたいと思います。
副町長	貴重な御意見ありがとうございました。 安否確認やそれ以外にも、保健師等々を通じまして、独居老人の方、あるいはそういった方の安否確認をどのようにしていくかということで、人だけでも、その地点に行けるような形を、というようなことを考えたりいたします。人命を守ることが我々の使命だと思ってますので、慎重に行動しながら、迅速に安否確認をして、安全対策を講じてまいりたいと思ってますので、また、そこも見守っていただければと思います。よろしくお願いします。
会長	ほかに何か皆さん。ございませんでしょうかね。はい、お願いします。
委員	大雪の話が出ましたのでつけ加えさせていただいたらと思いますが、私も除雪のほうは高市地区をぐるぐる回っておりますし、私が乗った後に、42 号線中山線を抜けてくれた業者がおられます。その方は、枝道に車が入るようにしていただいて、独居お年寄りのところに行けるように、途中まで行ったんですけど、「これいけません。」ということで帰ってしまいました。379 号線も、その業者によって除雪していただいたのですが、余りにきれいにやってくれてないもので、大渋滞になっておりました。道がガタガタになっておりました。大きいトラックも立ち往生していて、自分がワイヤーで引っ張ってあげたりもしたんですけど、業者もちゃんと除雪するよう指導が必要かと思います。これ、ずっと毎年同じことの繰り返しです。玉谷地区のほうはきれいにしてもらっております。高市地区はガタガタです。町のほうはこれまずいなっていうとこだけ除雪しますけど、ほかのところまで手が回らないということなんで、業者の指導をよろしくお願いしたいと思います。以上です。
会長	返答はいただけないですか。はい、分かりました。ほかにございませんでしょうか。はい、どうぞ。
委員	今の雪のことも含めてですけども、今度消防署を建てかえるということで、出来たら消防職員さんは、常時３名で常駐してるということで、積雪があった場合、支所は、砥部町のほうから上がって、なかなか来れなかったり、地元の方がいらっしゃらなかったりということで、防災無線も使えない状況なのです

が、今回建てかえることで、無線の防災無線も、消防署にはつくと思うのですけども、もし職員さんが、この庁舎のほうまで来られて、防災無線を使える状況を、連携をとっていれば、常時常駐してるのですから、その場所の状況、積雪の状況の放送はできると思いますし、万が一の連絡を消防署にはなかなか連絡しにくいけども、役場に関しては、連絡をしてくれるんじゃないかと。地区の消防職員じゃなくて消防隊員の方も随時、自宅の周辺の積雪状況、電気状況の連絡を、役場の、消防職員がここまで歩いてこられて、開設して、事情を聞くと、消防署と役場との連携がとれてないと。連携難しいと思うのですが、常時常駐している消防署を考えると、急な積雪であっても、支所まで歩いてきていただいて、安心材料じゃないですけど、今現在何センチの積雪があると、その状況が他のところと共有できるだけでも違うんじゃないかと。それからの対策については、各消防団員並びに消防職員の行動によって、情報を集約してそれからその行動に移ると、動ける年齢っていうのはもう 65 歳ぐらいのものが 1 番動けるので、あとはもう高齢者になるので、民生委員さんとの協力も含めて、そこは動ける者が動くという体制、防災体制を、とっていかないと、町でこの役職だからとか、何なりの関係してる人じゃないと動けないじゃなくて、もう動ける人が動かないと。もう成り立たない状況になってますので、この、今の現状が。できれば消防署の方には御迷惑かもしれませんけど、緊急を要する場合は、防災無線をちょっと流してもらうというような、関連づけも、お願いしていけたらなと思います。

もう一つ、実は救急車を要請したことがございまして、今年の 5 月だったんですが、ちょうど 1 台目が出てて、もう救急車がないというときに、中山から来ていただきました。土地勘もないからしょうがないかなと思ったんですけど、私の自宅はちょうど 42 号線から入るところで、懐中電灯を持って走ったんです。そしたら、安全第 1 ですからとストレッチャーを、道をずっと自宅まで押して、本人さん心臓が悪く救急車を呼んだので、見守ってるほうも心配だったのですが、道に入ってくださいと、お願いしたんですけど、いや、安全第 1 ですから、ということで、商店の横のところから、ストレッチャーで自宅まで来たんですね。でも、待ってる状況のものからいいますと、何で中まで入ってくれないのかと。例えば、お寺のお坊さんが、緊急を要したときには、入り口からお寺さんまで上がるのかと思いました。言いはしなかったんですけれども。そういった事情がございまして、翌日他の住民の方の所も、要請があって、そのときも、おばあちゃんが一生懸命懐中電灯を持って、表まで出たんですが、中まで入ってこられなかった。安全性の基準はどこにあるのか。独居老人が多い状況と、それから、家が本当に細い道も入らなくちゃいけないところばっかりです。理不尽さを感じたので、やんわりと消防署に行ってお聞きしました。どこまでが行けるところでどこからがいけないっていう基準があるのですかと。いえ、それは職員の判断です。ということでした。今後、救急車を要請しても、80 歳・90 歳に近い方に、自宅までストレッチャーで、押していか

	なくてはいけないっていうところが、数えるぐらいしかいらっしゃらないので、どのお宅から要請があるか分かりませんが、できれば、家の近くまでは来てほしいと、要請したいと思いますが、個人ではなかなかそれ伝わりませんので、よろしければ、行政のほうからもそういった声があったと。お伝えしていただいたらと思います。
副町長	はい、ありがとうございます。まずは消防職員、常駐しております広田出張所と、支所の防災無線での情報提供放送につきましては、我々と消防署のほうで話ができると思いますし、体制づくりにつきましては、今日持ち帰りまして、また、明日以降、早期に年末年始を迎えますので、1か月経ちましたら、いつ雪が降るか分かりませんので、体制整備をまず実施させていただくと。消防団との連携につきましては、個別の無線機を持ってますので、その辺りの活用をしながら、広田の分団の団員さんの行動についても、何かしら情報提供をいただいて、どういう行動をとっていくかっていうところも含めまして、持ち帰りまして、早期に話合いを持たしていただけたらと、1点目のことについては思います。救急車の要請の、ストレッチャーの進入だったり安全性の基準だったりするとこ、御確認いただいてると思うのですが、私のほうから、伊予消防事務組合の消防長がトップでございますので、消防長のほうに、お話もさせていただきながら、全職員に、どういった基準を職員に任せてますということなんですね。早く、安心安全をして、救急車に乗っていただいて、病院に早く到着する。それはもう、御自身御家族の願いだと思ってますので、やはりその希望をかなえていくのが、消防職員であると思いますので、その場でそういうふうな、迅速な判断ができるようにお話は通しておきますので、今日は貴重なご意見ありがとうございました。
会長	委員さんよろしいでしょうかね。ほかにお願いいたします。
委員	先ほどの救急車の話ですが、広田地区内を、救急車がぐるぐる回っていらっしゃるんです。そのときに、ここは入れるとか入れないとか、道の幅とかは確認できると思うんですよ。あとは運転手の技術の問題、そこら辺は、毎日どこか、専属の運転手になるのかは分かりませんけど、先程、おっしゃった話の件で、対象の場所でしたら十分に入る広さなんです。そこが入れないなんていうんであれば、もっと運転の技術向上の必要であると思います。何のための救急車でしょうか。狭いところを確認したり、点検、道幅の確認というのができるかと思いますので、それは必要だと思います。
副町長	広田出張所に勤務する職員と砥部消防署から交代で広田地区に上がっておるかと思うんですが、やはり自分たちの運転技術の向上と、地域の道路を覚えるために、実際消防署で巡回して、道路の確認はできるかと思います。

	私どもの砥部消防署のほうで、配置してる職員であれば、道を確認覚えるっていうことができるかと思うんですが、その他、応援のかたですね、伊予市から来る、中山から来る松前から来る。これはまた、夜間であれば、私どもとしましても、運転技術があったとしても、難しいところもあるんではないかなと思いますんで、その辺りも含めまして、消防所長のほうにはお伝えをするんですが、委員様のいうとおり、日頃の運転技術の向上というのは不可欠かなと思いますので。消防長のほうに、また、御意見をお伝えさせていただきます。どうもありがとうございました。
会長	よろしいでしょうかね。他にございませんでしょうか。特にないようでございましたら、予定しておりました議事は終了したいと思います。 本日は本当にお忙しいところを御出席いただきまして、ありがとうございました。事務局の方お願いいたします。
事務局	はい。それでは、以上で第 27 回広田地区地域審議会を終了させていただきます。皆様御起立ください。礼。ありがとうございました。委員の皆様、長時間どうもありがとうございました。また、12 月 3 日じねんじょ祭りがひろた交流センターの方でありますので、よろしくお願いいたします。お気を付けてお帰り下さい。